

科目名		憲法特殊講義Ⅰ	
担当教員	荒牧重人	科目区分	選択必修科目
開講区分	前期	単位数	2単位
曜日時限	水曜・1時限	開講年次	1年
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・憲法の基本的考え方、判例や学説に関する基本知識の習得</li> <li>・今日の憲法問題「解決」のあり方について検討・模索</li> <li>・今日の憲法問題およびその「解決」の方向性について考える力の養成</li> </ul>		
授業概要	<p>日本国憲法をめぐる主要な今日的な問題について、憲法の基本原理をふまえながら、日本でどのような問題が憲法問題として論争になり、あるいは裁判で争われているか、その問題について国会や内閣あるいは裁判所はどのような判断をしているか、そこでの特質と問題点は何か、などの諸点から考察します。これらの考察を通じて日本国憲法の基本原理・構造などについての理解や現実の問題解決の在り方などについて検討します。</p> <p>授業の方法としては、主要なテーマごとに条文・学説・判例などを分析しながら、そこで論争になっている事例を双方向で検討します。そして、当該問題の歴史的小および国際的な展開をふまえながら、問題の所在や解決策を討論します。</p>		
授業計画			
回数	内容		
第1回	憲法の基本原理—立憲主義、国民主権と象徴天皇制等		
第2回	自衛隊と憲法9条		
第3回	集団的自衛権、日米安全保障条約、自衛隊の海外派遣と平和主義		
第4回	外国人の人権—公務就任、参政権等		
第5回	子どもの人権—虐待、体罰等		
第6回	法の下での平等—婚外子差別、女性差別、ポジティブ・アクション等		
第7回	「国旗・国歌」問題		
第8回	首相靖国神社参拝と信教の自由・政教分離の原則		
第9回	特定秘密保護法と表現の自由		
第10回	ヘイトスピーチ等と表現の自由		
第11回	教育への国家介入と教育への権利・自由		
第12回	生活保護基準の切り下げと生存権		
第13回	議員定数不均衡問題		
第14回	選挙制度、選挙活動と選挙権（とくに18歳選挙権の問題）		
第15回	憲法「改正」をめぐる問題		
準備学習等 （課題・予習・復習・調査等）	<p>各回の最後に次週の準備学習についてコメントします。</p> <p>それぞれのテーマにかかわる今日的課題について資料・データ等を探し、それらを読み込むとともに、自分なりの見解を持って講義にのぞんでください。</p>		
評価方法・基準 ・講評の方法	<p>講義における質疑応答・討議の能力（30%）、レポート（70%）を総合的に判定します。</p> <p>レポートにコメントをつけて返却します。もちろん、希望する学生には研究室等で直接対応します。</p>		
テキスト・参考書	<p>芦部信喜『憲法 第7版』（岩波書店、2019年）</p> <p>適宜資料を配付します。</p>		
前年度の授業を ふまえた今年度 の授業方針	<p>講義と報告と討論を組み合わせで展開します。</p> <p>受講者の主体性が活かせ、かつ双方向になるように内容や進め方等を工夫します。</p>		
学生への メッセージ	<p>以前から言われている言葉ですが、Think globally act locally の精神をもって、ともに憲法の今日的課題に挑んでいきましょう。</p>		
授業に参考と なるサイト	<p>政府関係省庁のホームページほか、授業内容に応じて適宜紹介します。</p>		
関連する画像			

その他・備考